

～新人・異動職員紹介～

ミント 長谷川 卓也

好きなアニメはコナンです★

① 利用者さんとかかわりを頑張りたいです！
② サッカー観戦。現地に行く事もあります！

ドナルド 後藤 美裕

サンリオのキーホルダーを
思う存分集めるのが、
好きです♪

① 一人一人に寄り添った適切な支援を目指して頑張ります！
② 推しのライブや舞台に行くこと、友達と遊ぶことです！

常勤看護師 富永 聡子

① みなさんとのコミュニケーションを大切にしていきたいです！
② 録画した映画・ドラマ鑑賞

WELCOME 新たな環境で頑張る皆さんに
聞いてみました！

事務職員 望月 ゆかり

① 幹でのお仕事の抱負は何ですか？
② 休日の過ごし方を教えてください！

ホッキョクグマが大好きです♡

① 早くお仕事を覚えてみなさんのお役に立ちたいです！
② 動物園や美術館に行く、ゲームをすることです！

邦ロックが好きです！

① 2年ぶり、3回目の幹。みんなについていきます。
② 普段作らないご飯作り♪

フロ野球観戦が趣味です！

ミント 青木伸明

いちじ 一時ケア・ショートステイ 内山実香

おはなしだいすき♣️よつぽ

おもちゃ文庫では昨年度より2カ月に一度の第1水曜日に『お話し会』を始めました。絵本読み聞かせの他にも体操や工作、季節の歌、手あそび、紙芝居…と多彩なプログラム、子育て中の親子さんならどなたでも無料で参加できます。

6月の歌は「かえるの合唱」、工作はピョーン！と飛び出すカエルを作りました。＊詳細はHPの日記もご覧ください♪



発行：社会福祉法人 大樹 つるみ地域活動ホーム 幹
横浜市鶴見区北寺尾4-21-20

TEL：045（585）9246

FAX：045（585）9247

URL：http://www.taiju.or.jp

Email：miki@taiju.or.jp



幹まつりのお知らせ

今年も幹まつりの開催が決定しました！

開催日：令和7年10月11日(土)

時間：11時～14時(予定)

場所：北寺尾四丁目公園、活動ホーム幹

内容：模擬店、ステージイベント等 企画中☺️

今年は『地域の一員として思い出に残るイベントを作る！』を合言葉に準備をすすめています。詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせします。どうぞお楽しみに☆



**題字
作成
風景**



個性豊かな★グループの合作です！

一退職のお知らせ

職員 山中 夢、梶田 圭は一身上の都合により5月末で退職しました。在職中は大変お世話になりました。

社会福祉法人大樹 つるみ地域活動ホーム幹

こもれび 第84号
令和7年7月発行



題字 ドナルドグループのみなさん

ごあいさつ 副施設長 井上 竜

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により中止していたグループ単位の日帰り外出や家族懇談会の再開に取り組みました。利用者さんが外出前にレストランのメニューやお土産などを見比べている様子、ご家族同士の久しぶりの交流の場面を通じて、「体験や経験をする機会」「人と人との関わりやつながり」の大切さについて、改めて感じる一年となりました。

また、近隣の小学校との交流がこのところ深まり、イベントや施設見学などの機会を通じてふれあいの場が増えていることを嬉しく感じています。新聞やニュースで「地域共生社会」といった理念的な言葉を耳にすることが多くなりましたが、大切なのは、まず障がいのある人と接し、障がいについて知ることだと考えています。

残念ながら、障がいによって生じる課題に対して、当事者に原因を求めるような風潮が依然としてあるように感じます。では、障がいがあることで本当に困っているのは誰なのか？障がいのある方が地域で暮らすためには、どのようなサポートが必要なのか？—こうした問いに向き合いながら、今後も地域活動ホームとしての役割を果たしていきます。

さて、令和7年度がスタートしました。今年度も新たなメンバーさんとともに、新卒の新入職員を迎えることができました。いわゆる“コロナ世代”にあたる若者たちですが、この数年の印象として共通して感じるのは、非常に真面目な世代だということです。失敗しないことに重きを置く傾向も見られますが、それは「情報が多く、調べればすぐに手に入る時代になった」ことも背景にあるように思います。

新入職員のフレッシュな視点を大切にしつつ、「チャレンジすること」や「人と関わることの面白さ」といった、対人援助職にとって重要な視点を少しずつ伝えていきたいと思っています。若手職員の活躍が事業所の成長に繋がるよう、中堅・ベテラン職員もそれぞれの持ち味を活かしながら共に盛り上げていきます。令和7年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします！



★幹常勤職員全体研修を実施しました★

2月に基幹相談員の協力を得て、幹職員全体研修会を実施しました。

前半は「KITTY メソッド」による事例検討会に取り組みました。KITTY メソッドとは、参加者全員が一つずつ質問を繰り返すことで状況や状態を明確化し、対象者自身やその環境面をより深く理解する手法です。この機会を通じて、若手職員も積極的に質問を挙げてベテラン職員や相談員とともにこれから実現できる支援方法などを議論することができました。

後半は「災害に備えて～横浜市福祉避難所としての機能～」と題して、防災委員会を中心に地域活動ホームの持つ災害時の機能についてあらためて職員全体に向けて説明しました。災害は起きないことが一番ですが、有事の際に福祉避難所の役割・機能が果たせるように、備蓄物資の維持や連絡体制の確認などを怠らずに取り組んでいきたいと思っています。

